

AMCoR

Asahikawa Medical University Repository <http://amcor.asahikawa-med.ac.jp/>

看護研究集録(2012.09) 平成21年度:67.

THA患者への退院指導の効果(退院後の生活を追跡調査して)

大坪恵美、原谷俊治、佐藤菜穂美、杉本沙織

THA 患者への退院指導の効果 (退院後の生活を追跡調査して)

8階西ナーステーション ○大坪 恵美、原谷 俊治、佐藤菜穂美、杉本 沙織

【目的】

当整形外科病棟では、人工股関節置換術患者（以下 THA 患者と略す）の退院指導に、術前オリエンテーション VTR やパンフレットを用いて教育的介入をしている。退院後 2 週目の生活に患者は困難感を感じているという先行研究¹⁾から、退院指導 DVD を作成し教育ツールとして加え指導することにより、入院中から具体的に生活調整を行うことができ 2009 年 4 月に学会報告している。THA 患者が、退院後の生活調整を困難感なくできているのか追跡調査し、退院指導の効果を明らかにする。

【方法】

平成 20 年 8 月から 10 月に入退院し THA を受けた患者 5 名を対象とした。オリエンテーション VTR・パンフレット・退院指導 DVD を用いて患者の ADL 獲得状況に応じて段階的に生活の振り返りや患者が習得したい動作の訓練など退院指導を行った。退院後も生活調整ができているのかを独自で作成した 18 項目の質問紙と一部聞き取りにて調査し、退院前後で比較し、健康信念モデルにて分析する。

【結果】

退院前の質問紙の結果より、生活調整の理解度は、総合点の平均点が視聴前 42 点より視聴後 64 点へと上がった。また、聞き取り調査より生活調整に対する患者の意識は、「退院後の生活が具体的に考えられない」から「自信を持って退院できる」に変化した。映像化した教育ツールを用い視覚的に訴え指導することで、患者は生活調整を具体化でき退院をした。退院後の調査は、現在追跡調査中にて発表で述べる。